

石川礪吉印

一電探之係長途途

由障冬之長康法着可

年中之多探之付表年

美紡機之方智運轉法在

之付以多探之投念可

年中之陳之當月五夕

磯長去輔以急歸塔仕

紡機之借用金是迄家届

有之得之尚又取之屋了

中之有東京之掛合有之

中之有之然當東京表公

中之借用金是府之午七月

廿三日徳居之地方之出入之

市来之有川之善之表

府之表之紡機之未十分運轉

之在之之事之尔来之其員之

多之有之利金之多分と掛

有之 貴家板之持越

年中之表府之出入之表

存心之事一と 尔来之金員  
多之有之利金も多分と掛  
有之 貴家様は持越  
金も之重所より金も亦通  
中々具又

金九百八拾兩三合貳朱

右濱壽 太平次へ借入より 株

有之是は是迄中屋敷分家  
考之申之 株之目込 於東京

興倉君之計之濱壽より借  
分と致之由 尤上屋敷分家

考之申之 金高之機関者并  
坊師強りより忠所不滞金

右金 右兩金之四百兩計なる  
是之儀申之と云ぬより 都合

難之計是は中より申之候  
仕立より 且又紀公方公班衛金

壹万兩も重載有之 是れ  
貴家様は持越之申之と重

所より記之し 彌々申之仕大  
凶念致之

五月夜七夜、越越小野本  
西へ曾方抵上飛り下りて五百

朝 申之者あり 此也 細之申  
義隆公都合多氣前而

鬼子角付之 五代也 持越  
重所より通有之と云ふ不都合

重所より通有之と云ふ不都合

東... 御... 延...

養正の御全多氣前西

皇子角付本五代也持越

東府より遠方より不都合

方徳之五代也方より其甲

右より形乃御之五代也中送

田中省三之事之五代也

引合より其計三程より送主

下より儀之七日自より掛合

書付申付立より申より尤小野

古托差送下より申より

征心年濱寄之二株を擧

事機を申 中貴家柳中持

越より申より一冊の書出より

外より是より上より別紙入

申付申より少又申より證書付

出下より東京中掛合より申より

徳之書字仕付申より白

見米吉良より方より未澄書

之文書外例の徳より書出

申下より右目入より其越磯長

の合より申より

右より起已より書承知より儀可

有申より其以より為合

ト云々

書着自澄末申申付申

下より期より及申より其種

申付申より其儀より其

上之三

法着有涯未決乎此附之

之期之及中下為之三種

由死靈思之儀多之實

不實易儀忠死忠骨也

程幾之之之之之

貴年之通何付之也

信之折角心組強在

先于石忠着有法同宗石

形乃其也其也其也其也

追之形乃其也其也

竹之

三月十日

石河確

如

五代執事 榻下

副白

本堂是通紀二方全

重載之付之曰店長之

面

副白

本署より通記の方金

を載せしむる日店長殿へ

面談の御多うにお念ひをもち

結構と承り申すに申すに

前番の通記の金も高増

といふのでは都合よく申すに

都合よくも乗じて追下

立却て根元を古倒しに

大車より為る煩念強行

貴家様は在京は取扱

と申す儀は申すに

機不可失由に捨て

依頼を衝胸降

より一層の申煩思増加

取置を忘るるに

新入

付二株 貴家板は持  
越後守一冊之末、墨澤下

一 室をいふ友

右己九月紀玉屋向之郎公公班清室より

右納

一 室右右少指友之方以存

右年十二月漢陽を奉次公傳入

卷之二

如

一 聖者之友

右己丑月紀玉在之師公之班清室

古納

一 聖者之友

右年十二月漢陽在平次之傳入

什證又三通付公古因下

一 望右有公指友之分設事也

右今般就要用於所中必受定之也

御上之誠則之加利息未未七日派并也

之利有也故下以為後日派并也

吳列塔  
坊徽所封

以治之五年十月

石河確之郎

漢陽之市治反

论文

一、至右有八指友之分议事也

右一今般就要用办防中以受定定也

御上之或到一知利是未未七日派并水送

之利有也派下以为后日派与出外

早列塔  
坊徽所封

以派之五年十月

石河確之邸

渡防与步防友

论文

一 孟子子亦有以格于夏者分之二来亦二分议也

有之今被就常用书影中亦亦交实而史

御之今议到之加利是高中七月派亦事遂

之利有是涉下以为佳日仍与以件

日新

石河雅之坤

以在六夜中二月

唐史各情嫌之官始

纺织所

亦以是年春坤反

.....

本資料は、大阪商工会議所所蔵の「五代友厚関係文書」収録資料のうち、お問い合わせの多いものを抜粋し公開するものです。

資料を複製使用する場合は、あらかじめ申請書を提出し許可を受けていただく必要があります。

手続きにつきましては、下記事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

【事務局】大阪商工会議所 大阪企業家ミュージアム

〒541-0053 大阪市中央区本町 1-4-5 大阪産業創造館 B1F

TEL 06-4964-7601 FAX 06-6264-6011

[museum@osaka.cci.or.jp](mailto:museum@osaka.cci.or.jp)

.....